

情報交差点・心と心の交わり

## あじまへ

大宜味中ソフトテニス部  
団体選女子3位

女子個人戦 山川瀬奈・高良心ペア3位



第65回沖縄県中学校ソフトテニス競技大会

7月22日（土）～24日（月）に、県総合運動公園庭球場・レクドームで開催された第65回沖縄県中学校ソフトテニス競技大会に大宜味中ソフトテニス部が出場しました。

男子は個人戦で宮城松さん、大石明翔さんペアがベスト8入り、女子は団体戦で3位、個人戦で山川瀬奈さん、高良心さんペアが3位となり、瀬奈さん、心さんが九州大会への切符をつかみました。

大会を終え、松さんは「団体戦はバスケ部のメンバーも借りながら挑んだが、地区大会より盛り上げることができた。3年生は最後の大会だったので思い切り、悔いの残らないプレーができたので良かった。個人戦は九州大会まであと一勝だったので悔しかったが、1点1点を積み重ねるプレーができたので良かった」と話しました。

女子団体戦をふり返り、心さんは「2勝1敗で3位となった。今まで勝つことができなかった屋部中に勝利したのが今大会一番の収穫だった」と話し、個人戦3位の瀬奈さんは「決勝リーグは1勝2敗となり、3位決定戦で勝つことができた。団体戦で進めなかった分、個人戦で頑張りたい。九州大会では県の代表として全力を尽くしたい」と意気込みました。

九州大会は8月5日から7日まで大分県で行われます。九州大会での活躍を期待し、村民挙げて応援よろしくお願ひします！

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

最後までやりきった野球部



第75回沖縄県中学校野球選手権大会

7月22日（土）～26日（水）に開催された第75回沖縄県中学校野球選手権大会に大宜味中野球部が出場しました。

23日（日）1回戦、セルラースタジアム那覇で行われた宮古市鏡原中には1対0の接戦で勝利。タイブレークとなった8回裏、副キャプテンの渡嘉敷空さんがバントを成功させ、キャプテンの花田琉空さんの右中間ライナーが決勝打となり勝利をつかみました。

2回戦は那覇市金城中に惜しくも1対3で敗れてしまいましたが、空さんは「自分たちの努力だけでなく周りで支えてくれた人たちの力も大きく、感謝の気持ちをプレーで出そうと思った。全国出場を目指していたので悔しい結果になったが、自分たちができることは全部できた。全力を出し切れたので良かった」と話してくれました。

大宜味中野球部初の県大会出場で村も盛り上がり、村民に元気と活気をくれました。

野球部のみなさん、ありがとうございました。お疲れ様です。

### 大宜味村の川と海の生きものを見よう♪学ぼう♪ 令和5年度わんぱく体験団

#### 第2弾「田嘉里川で生きものをつかまえて調べよう!!Part12 そして… サザマ石のアジサシを見に行こう！」

7月1日（土）、令和5年度わんぱく体験団第2弾「田嘉里川で生きものをつかまえて調べよう!!Part12 そして… サザマ石のアジサシを見に行こう！」が開催されました。

この日は17名のわんぱくたちが集合。各班で捕獲目標を決めたら、いざ田嘉里川へ…。川では辺土名高校サイエンス部のお兄さんお姉さんが生きものが隠れていそうな場所や捕まえ方を教えてくれ、わんぱくたちもトライ♪

始めは生きものを見つけることもできなかったわんぱくたちですが、徐々に小さいカニやエビが捕れ始め、大物を捕獲するわんぱくたちも… 今年も期待できそうです。



捕獲が終われば、待ってましたの川遊びタイム♪ 網やバケツをゴーグルやライフジャケットにつけ換え、ここからは泳ぎに専念します。いつものことながらここがわんぱくたちの度胸の見せどころ。身長より高いところから飛び込みます。

高い所からではなくてもみんなで一斉にジャンプしたり、滝の近くまで泳いでみたり川を存分に楽しむわんぱくたちでした。



お昼ご飯を食べたら、学びの時間です。捕まえてきた生きものが何か本を使って調べ、わんぱくオリジナルの図かんを作ります。ここでも辺土名高校のお兄さん、お姉さんが大活躍♪いろいろ教わちゃいます。



この日はこれだけでは終わらない…。またまた辺土名高校のお兄さん、お姉さんの出番、アジサシ観察会の始まり始まり～。残念ながらサザマ石にはまだエリグロアジサシが来ておらず、塩屋湾に移動していかだや発泡スチロールに営業しているエリグロアジサシを観察しました。

川の生きものも海の生きものも知り、たくさん学んでたくさん遊んだ1日でした。辺土名高校のみなさん、ありがとうございました。



### 教育長就任あいさつ 宮城政信

去る7月1日付けで教育長に就任致しました。

これまで、米須前教育長が築き上げてきた教育実践の成果を継承しつつ、幼・小・中での40年あまりの学校現場の経験を生かしていけたらと考えています。私は字根路銘の出身で中学校まで大宜味で過ごしました。平成25年に旧大宜味小学校の校長として大宜味に戻り、今日まで約10年間、大宜味の子どもたちの教育に関わってきました。私が申し上げるまでもないのですが、大宜味のよさは地域全体で子どもを育てる風土ができていくということです。私が幼小の頃はそれが顕著でした。時代の流れか各地でどんどん子どもや学校と地域との関係が薄れつつある中で、大宜味へ戻ってきたとき、大宜味ではそれがまだ残っていると感激致しました。地域の方々がよく学校に足を運んで子どもたちの頑張りを激励してくれました。コロナ禍の影響や地域と学校が距離的に遠くなり、全く以前のようににはできないと思いますが、できるだけ近づけていけたらと考えています。

最近、「こども真ん中」という言葉をよく耳にします。子どもを真ん中に据え子供を取り巻く全ての大人が子どもの成長に関わり、子どもはもちろんのこと、関わった大人よりよくなるようなシステムを今以上に築き上げていきたいと考えています。（ウェル・ビーイングの考え）

大宜味の将来を担う子どもたちをはじめ、村民の豊かな心や夢を育むために、関係者の皆様と連携を図りながら教育行政に邁進する所存ですので、ご協力ご助言をよろしくお願い致します。

### おおぎみこども園 園長就任のあいさつ

ハイタイ、グスーヨー チュウウガナビラ。暑い毎日、皆様お元気のことと思います。

この度、宮城政信園長先生が教育長に就任されたことに伴い、7月1日付で園長になりました島袋きよみと申します。

さて、人生100年時代と言われている今日この頃において、おおぎみこども園園長就任のお話をいただきました。そこで、残された30年の過ごし方を考えたとき、悠々自適に人生を謳歌するか。或いは、お声掛けに応じてもうひと頑張りするか。非常に悩みました。おおいに考えました。

そんな中、“70にして心の欲する所に従えども矩をこえず” 孔子が述べた論語の一節が頭をよぎり、微力ながら“子ども達の学びと育ち”に役立つことができたらと思い、お引き受けすることといたしました。「人材を以て 資源と為す」の村是にあるように。「三つ子の魂 百まで」と言い伝えられているように。「幼児教育の重要性」が推奨されている昨今。

大宜味村の子ども達（特に乳幼児）と再び関われる機会を与えられたことに感謝して

《シクチャー シクチガル ナラースル（仕事は仕事が教えてくれる）》を念頭に置いて、職員や保護者の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、精進していきたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

令和5年7月吉日 おおぎみこども園 園長 島袋 きよみ



教育長：宮城政信

出身：根路銘

生まれ：昭和31年1月11日（67才）

趣味：旅行、昭和歌謡鑑賞、読書

座右の銘：春風秋霜



園長：島袋きよみ

出身：大兼久

生まれ：昭和27年7月5日

趣味：太極拳

座右の銘：天の時・地の利・人の和

## 沖縄で海外留学体験！！『まちなか留学』実施

令和5年7月22日（土）から24日（月）までの2泊3日間、大宜味中学生を対象とした「まちなか留学」が行われました。

まちなか留学とは、県内に住む外国人宅にホームステイし、その家庭の語学や文化等を学ぶ事業です。

今回、応募のあった大宜味中学校1年生から3年生までの生徒合わせて9名の参加となり、参加生徒は事前にスピーキング練習や各自で英語学習を経て留学当日を迎えました。

嘉手納町で行われた留学初日のWelcomeセレモニーでは参加生徒と各ホストファミリーが集まり、参加生徒代表として宮城重磨さんが英語で挨拶を行い、セレモニー後は各ホストファミリー宅へ移動し、生徒それぞれのホームステイ先で体験・交流を行いました。

最終日の24日（月）に行われたFarewellセレモニーでは、大城真乃さんが生徒を代表して英語でお礼のスピーチを行い、ホストファミリーと最後の別れを惜しみました。

参加された生徒には「まちなか留学」で学んだ体験を今後を活かし、将来の活躍を期待しております。



## 体験して知ろう！私たちの給食 給食センターお仕事体験&ちんすこうづくり

7月25日（火）、大宜味村立学校給食センターにおいて令和5年度ぶながやの里生涯学習講座②「給食センターお仕事体験&ちんすこうづくり」が開催されました。

体験を楽しく安全に過ごすためのお話を聞いた後は、手洗いチェッカーを使って手洗いが上手にできているか確認。洗い残しがないよう、指のまたや爪の間もしっかり洗います。きれいな手になったら、最初のメインイベント、ちんすこうづくりに取り掛かります。ラードと砂



糖と薄力粉（今回はカラキの粉入り）をよく混ぜ合わせたら、生地をこねて丸めて、伸ばします。簡単な工程ですが、よく混ぜると食感が良くなるので、一生懸命混ぜます。150℃に温めたオーブンで30分焼いたらできあがり♪



焼いている間に給食センターのお仕事体験。食材を模したカラーボールを使って実際と同じように洗ったり、大きな釜の中で混ぜたり、決まった量を食缶に分けたり、給食を作るまでにたくさんやる必要があります。作るだけではなく、食べ終わって返ってきた食器を洗う体験も。給食センターでは洗い残しがないよう、食器1枚1枚を手洗いしており、よく洗った後、洗浄機を使ってすすぎます。

今回の体験で普段食べている給食がどのように作られているか、給食センターの人たちがどんな作業をしているかわかり、参加者からは「朝早くから時間をかけて料理を作り、片付けもして給食センターの人の頑張りがわかった」、「給食センターの人はすごいと思った」、「食器洗いが面白かった」などの感想がありました。

「おいしい給食ありがとう」の気持ちで心の底から出る貴重な体験となりました。



## 『海外短期留学 2023』の実施について

令和5年7月13日（木）午前8時より那覇空港内のふくぎホールにおいて、沖縄県内市町村海外短期留学実行委員会主催の『海外短期留学 2023』出発式が行われ、当村から大宜味中学1年生の神里陽菜乃さんが参加しました。

ここ数年間は新型コロナの影響により海外に行くことが困難な状況でありましたが、今年度、ワシントン州立大学への留学実施を計画している当実行委員会に大宜味村も再加入し、参加生徒合計42名で派遣する運びとなりました。

当村より参加する陽菜乃さんには、7月13日（木）から8月2日（水）までの約3週間、アメリカで過ごす貴重な体験が今後の自分自身への大きな糧となることでしょう。一回りも二回りも大きく成長して帰ってくる陽菜乃さんに会えることを楽しみにしております。



## 辺高生と一緒に活動♪エリグロアジサシ観察会

7月17日（月）、令和5年度ぶながやの里生涯学習講座「辺高生が案内するエリグロアジサシ観察会&講演会」が開催されました。

身近にあるやんばるの自然に目を向けること、サザマ石でエリグロアジサシが繁殖していることを知ること、アジサシの繁殖に影響を与えないよう自分たちに何ができるか考えることを目的に開催されたこの活動。

辺土名高校の仲宗根諒大（なかそねりお）さん、仲本茶真（なかもとちやま）さんが講師を務め、大宜味村やその周辺に渡ってくるエリグロアジサシ、ベニアジサシの生態や辺土名高校での活動を紹介します。その後、平南、塩屋、サザマ石で繁殖するエリグロアジサシを確認しに行きました。

平南では卵を温めている姿や岩礁周辺で飛び交うアジサシを観察し、塩屋ではいかだや発泡スチロールといった人工物を利用して卵やヒナを育てているアジサシを観察しました。

講師の2人は「人が岩礁に近づくと親鳥は警戒して巣から離れてしまう。親が長時間巣を離れることで卵やヒナが死んでしまうことがある。なので繁殖期間中の7月～9月は岩礁に近づかず見守って欲しい」と参加者へ呼び掛けました。

参加者からは「今日エリグロアジサシを初めて見てひなも見られて良かった」、「アジサシと言う鳥を意識して観察したのは初めてだったので面白かった」、「エリグロアジサシもベニアジサシも外国から来ることを知った」、「可愛かった」「しっかり観察できて良かった。辺高生が頑張っている姿を見れて良かった」などの感想が上がり、改めて大宜味の自然を知る貴重な時間となりました。



\*\*\*\*\* 令和5年度 地域教育懇談会 \*\*\*\*\*

7月6日（木）、地域教育懇談会が、3年ぶりに開催されました。夕方の忙しい時間にもかかわらず、4住区で90名を超える参加がありました。

今回は、こども園、小学校、中学校、辺土名高校からの情報提供や、その場で作られたグループごとの話し合い、質疑応答などが行なわれました。グループごとの話し合いでは、「アフターコロナ 子どもを地域に」というテーマで、活発な意見交換が行なわれました。

住区ごとに状況や課題が異なり、いろいろなご意見がありました。未来を担う子ども達のために、学校、家庭、地域、行政が一体となって、協力・協働し見守っていきましょう。



塩屋住区  
塩屋公民館  
参加者31名

地域から、「マスクをしていて子ども達の表情が見えない。」「子どもの声が聞こえない。」などの意見がありました。コロナの対応が変わり、教育機関でできること、子ども会・地域でできることの確認を行ないました。また、スクールバスや学習用端末、無農薬野菜などの話題も出ました。



喜如嘉住区  
田嘉里公民館  
参加者20名

豊年祭や敬老会、アブシバレーなど地域行事も復活し、地域とこどもはつながっていると説明がありました。また、公民館で学習支援ができないか、「ぶながやだいこ」「やましだいこ」などの伝統の継承について、学校の安全管理についての要望などの意見も出ました。



津波住区  
宮城公民館  
参加者16名

こども園、小・中・高等学校のコロナ対応についての説明があり、生活の乱れから学力の低下について話し合いがもたれました。また、地域では行事が戻りつつあるが子どもが少なく困っていることや、ひとり暮らしの老人についてなど、いろいろな話題が出ました。



大宜味住区  
旧大宜味小  
多目的室  
参加者25名

各字、拝所巡りや豊年祭のおどりの練習など、地域の活動はコロナ以前に戻っている説明がありました。子ども達も交流を楽しんでいるという情報もありました。小学校と中学校の運動会日程への質問などもあり活発な意見交換がもたれました。もっと質問する時間がほしいなど、設定時間では足りませんでした。

☆ 参加者アンケートから ☆

今回の連絡方法について、「子どもからの公文を見た（学校配布）」は半分、「村の防災行政無線を聞いた」は7割程度でした。また、グループでの話し合いについては「よかった」との回答が多く、次年度以降の開催も「必要」という回答が多くあがっていました。懇談会の開催日や時間については、今年度同様を希望する回答が多かったです。

～学力向上推進委員会 事務局より～

次年度以降の開催や内容・テーマなどについては、今後、事務局や部会等で検討していきます。地域教育懇談会で出た内容とアンケート結果を参考に、今後も、家庭地域と共に学校を支えていきたいと思っております。今後ご支援御協力をよろしくお願いいたします。

◎参加者の声◎

- ◎こ・小・中・高の実態や方針・計画を共有することができて良かった。またグループワークや質疑では、いろいろな人の目線から意見が聞けたので良かった。地域とのつながりを感じ、共に子どもの成長を支えていると実感しました。
- ◎久しぶりに地域の方とお話しする機会があっとうれしかったです。
- ◎とても良い機会なので、保護者にもっと参加してほしい。もう少し気軽に参加できるように工夫していただけたらと思います。

### ★大宜味村スターリースカイ ～電気バスに乗って夏の星座に会いに行こう～

★ 教育委員会主催の今年度における第2回目星空観察会を、下記日程により開催を予定しております。  
★ 定員に限りがありますので、参加希望者はお早めに教育委員会へお申し込みください。

日時：令和5年8月19日（土）20時～21時30分  
場所：大保ダム及び、その近辺 ※集合場所：やんばるの森ビジターセンター  
対象：大宜味村民（未成年者は保護者同伴）  
募集定員：15名 ※定員に達し次第、締め切りますのでご了承ください。  
参加料金：300円（保険料、電気バス乗車代）  
※詳しくは各公民館等に掲載されているポスターや教育委員会へお問い合わせください。

お問い合わせ：大宜味村教育委員会 ☎：0980-44-3006（担当：津波古）

### ～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第6回 教育委員会会議 令和5年6月22日（木）午後2時7分 開催

#### ＜審議事項＞

議案第12号 教育委員の辞職の同意について

＜同意＞

**図書室情報** No.48 2023年（令和5年）8月 大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）  
大宜味村字大兼久157番地 0980-44-3009

### 県立図書館の本500冊！！

文学・沖縄の本  
育児・えほん  
健康・くらし  
料理・ビジネス  
などなど

#### 利用状況累計

○来室者数…のべ2,577人  
○貸出冊数…4,476冊  
○登録者数…155人

#### 7月の統計（7/25まで）

○来室者数…のべ83人  
○貸出冊数…59冊  
現在の蔵書数…6,498冊

#### 8月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



**夏休みセット  
あります！**

※来室の際は、感染症対策へのご協力をお願いします。  
体調の優れない方は、来室を控えてください。

### 寄付

大宜味村育英会へ

字大宜味 柳 英子 様 50万円 令和5年7月26日寄付

### 令和6年度大宜味村育英会入学準備金貸付募集についてお知らせ

大宜味村育英会では、村内に住所を有し、大学、短大、専門学校（高等専門学校含む）等に進学予定の者で、経済的な理由により修学困難な学生を対象に、令和6年度入学準備金貸付奨学生を次のとおり募集します。

- 1 採用人員 若干名
- 2 貸付金額 30万円（県内・県外同額）※1回限り
- 3 応募資格（1）大宜味村に住所を有し、現在大学、短大、専門学校等に進学予定の者で、  
経済的な理由で修学困難な者。  
（2）学業優秀、志操堅固であること。  
（3）家計上学費の支出が困難であること。
- 4 提出書類 ① 大宜味村育英資金入学準備金申請書  
② 住民票謄本（続柄入り）  
③ 所得証明書（同一生計者全員分）  
④ その他本会が指示する書類  
※合格証明書（合格決定後に提出）  
※在学証明書（進学後に提出。令和6年4月1日以降に発行されたもの）
- 5 提出書類の受付期間  
【前期】 令和5年8月1日（火）～8月31日（木）  
※午前8時30分～午後5時15分（土曜、日曜、祝祭日は除く）
- 6 提出先 大宜味村育英会（大宜味村教育委員会内）〒905-1392 大宜味村字大兼久157番地
- 7 その他  
（1）奨学生採用の可否については、当育英会内部で審査を経て決定し、審査後に本人宛に決定（内定）通知を行います。  
（2）決定（内定）通知を受領後は、合格通知書（写し）を当村教育委員会へ提出してください。合格通知書を提出後に入学準備金（30万円）を貸与致します。奨学金の貸与が決定（内定）されても合格通知書の提出がなければ入学準備金は貸与できません。）  
（3）合格した大学等へ進学後は、毎年4月に在学証明書（写し）の提出が必要となります。（在学証明書の提出が無い場合、入学準備金は返金となりますのでご注意ください。）  
（4）月額貸付奨学金（月額3万円）については、4月の募集となります。（申請受付は別途ご案内いたします。）
- 8 お問い合わせ 大宜味村村教育委員会 TEL0980-44-3006（担当：前田）

大宜味村史「人と自然編」について、宮城が行った報告の一部を紹介します。

### 大宜味村史「人と自然編」について

- 2022年3月発刊 販売価格 4,000円
- 第1章 大宜味の自然
- 第2章 シマジマの自然と暮らし
- 第3章 自然利用の伝統的知識



発表の様子 7月21日（金）

調査：2018年～2020年にかけて村内16字で行なった。

調査方法：植物①・植物②（合計255項目）・動物（250項目）について、それぞれ2時間、計6時間。テレビ画面に対象となる動植物の画像、音声を表示し、方言名と利用を答えてもらい記録する

調査者：専門部会員（当山昌直・安座間安史・島袋徳正・與儀春樹）、事務局

話者：調査対象の字出身で概ね75歳以上5～6名。場所は公民館

#### ・・・苦労した点や気をつけた点など・・・

- 各字の話者を集めること、日程調整を行うことが大変だった
- クーラーのない施設が多く、夏場は扇風機・冬場はヒーターを持ち込んで室内の温度調整を図り、夏はスポーツドリンク、冬は温かい飲み物を用意する等、話者の体調に配慮した
- 音声だけでなく映像で話者の口元を確認する等して忠実な文字起こしに努め、同じデータを複数名（2～4名）で確認し、より正確なデータになるよう心がけた。



謝名城 聞き取り調査最終日 2018年9月20日

#### ～「人と自然編」より、一部を紹介～



グラビア 自然と暮らし シークワサーで芭蕉布の洗濯



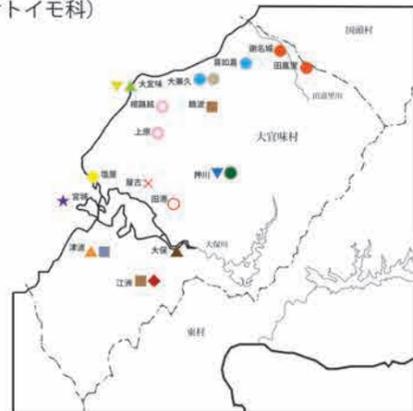
グラビア 自然と暮らし イタバシヨウの芯を使った料理



第3章 第1節 自然利用の景観 ガイドーフをつくる

#### クワズイモ（サトイモ科）

- イングーウム
- ▲ イングーグサ
- ▼ イングーバー
- イングーマーム
- イングーマームム
- ◇ イングームジ
- ◆ イゴナム
- ウバシ
- ゴムガサ
- ▲ ゴンガサ
- ▼ ハチコーウム
- ムジ
- ムジー
- ▲ ムジパー
- ワナム
- ★ イングーナム
- × (確認されず)



第3章 第2節 動植物の方言及び記憶と記録 クワズイモの方言分布



# 村史編さんだより

第148号 2023年8月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

7月21日（金）



## 沖縄県地域史協議会 2023年度総会および第1回研修会 参加報告

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、去年に引き続き今回もZoomを利用したリモートでの開催となりました。テーマは【地域史として「自然編」を編むこと】、当山昌直氏による基調講演をはじめ、近年、自然編関連の発刊をみた5市町村から報告を行い、大宜味村史は係長の宮城が調査や編集経緯の報告を行い、質疑応答のあとは、千木良芳範氏（宜野湾市立博物館館長）による地域史や自然編についてのまとめで締めくくりました。

自然編に関する地域史は、平成以前に41市町村のうち10市町村から発刊されており、令和元年度以降では下記の通り4機関5冊の発刊が相次いでいます。

発刊年度	書籍名（発刊者）※総会資料より
2019年	『宮古島市史 第3巻 自然編第I部 別冊』（宮古島市史編集委員会）
2022年	『宮古島市史 第3巻 自然編第II部 自然とひと』（宮古島市史編集委員会）
2021年	『与那原町史 図説編 自然と人』（与那原町史編集委員会）
2021年	『大宜味村史 人と自然編』（大宜味村史編纂委員会）
2022年	『名護市史本編・1 自然と人II 名護やんばるの環境誌』（名護市史編さん委員会）



リモート会議の様子（大宜味村役場）

基調講演は、2015年発刊の『沖縄県史各論編 第1巻自然環境』に主査として携わった当山氏により、「地域史としての自然編の意義」のテーマで、これまでの学術的な内容だけではなく、我々の先人が築き上げてきた身近な“人と自然の関わり”に重点を置いた意図や、各市町村で関わった「自然編」について、時がたてばさらに貴重になる聞き取り調査の重要性を力説し、今後自然編を編むとしたらどのような手法があるかなどが述べられました。

当山氏におきましては、ほぼ同時進行で5市町村の自然編編さんに携わるなか、大宜味村史も大いに叱咤激励され背中を押していただきました。自ら身を削るような姿勢で取り組まれるその姿勢は、まさに『大宜味村史 人と自然編』の生みの親であり恩人です。当山氏の明晰な頭脳と熱意に改めて敬意を表すると同時に、後世に残る書物を世に出すことの覚悟と姿勢を再認識させられました。

与那原町史、宮古島市史、名護市史、大宜味村史、恩納村史の報告では、自然編の内容・編集の過程・どんな調査を行なったか・反省点など写真を用いながら報告するとともに、発刊物を手にとってもらうためどんな公報・普及活動をしているか？今後、市町村史を編むうえで自然編の活用方法は？という質問に対して各報告者が取り組みなどについて答えました。

千木良氏は、「何のために、誰のために市町村史を作るのかをしっかりと考えながら、未来のためにまとめて欲しい。未来の予測はできないが、記録はできる。記録があれば今と比較ができる」などの提言や、調査で得た資料、メモ、標本などの散逸を防ぐ一つの方法として、調査のみ、その分野が得意な環境系のコンサル会社に任せ、その主導権は市町村が握るなどの提案がありました。



基調講演を行う当山昌直氏

政信教育長のあじま～コラム



米須前教育長『「しまふとうば」ぬくとう』というコラムは、毎回、大宜味の独特かつ懐かしい方言が沢山出てきて楽しみにしていたことと思いますが、私は育った家庭環境のせいか方言が得意ではありません。それを継いでいくことは無理なので、私のこれからのコラムは、これまで校長だよりや園だよりで子どもたちと関わったことなどを中心に書いた記事を修正しながら記載していきたいと思っています。

さて、故郷の言葉というとその地域独特な方言の他に訛りもありますね。私の初任校は旧具志川市にある学校でしたが、子ども達は地域の訛りがあり、校内放送でも訛りが出てくるのでなんとなくおかしく感じていました。2校目の学校も強い訛りがありました。ところが3校目頃からはテレビ等の影響でしょうか、子ども達が標準語に近く、それ以後の学校でも訛りを感じる事が少なくなりました。大人は訛りで大体出身地が分かります。初対面の人と話していても大宜味の方は大体分かります。訛りには郷愁感があります。

この訛りに関する思いで話があります。初教頭として赴任した学校は、地図にもない石垣島の小さな学校でした。辞令をいただいた時は大変不安でした。赴任して2月ほど経ち、ようやく落ち着き余裕も出てきた頃、地域からなんとなく聞き覚えのある懐かしい訛りが聞こえてくるのです。ここは石垣だし、不思議だなあと感じながらしばらく過ごしていると、大宜味の方々が終戦直後、沖縄本島から移民としてやってきて出来た学校だということがわかりました。さらに、私の噂を聞いた年輩の方々が学校にやって来て、父のことを聞くのです。喜如嘉校での父の教え子達がたくさんいてさらにびっくりしました。不安でいっぱいだった所が、おかげで地域の方々に大変よくしていただき思い出深い学校となっています。

今月の生きもの

フタオキョウ：タテハキョウ科 県指定天然記念物



撮影：村山望

こんにちは、私フタオキョウです。

オスもメスも後ろ翅に尾状の突起が2つあることからこの名前が付いています。ふたつの尾がおしゃれでしょ？

私は国内では沖縄本島にしかないキョウ。沖縄本島固有亜種です。

幼虫の食草はヤエヤマネコノ干干、クワノハエノキ。成虫になると樹液や熟した果実などを吸汁します。

オスは木の梢などになわばりを持ち、他のキョウを追い払う行動を見せ、アグレッシブに動きます。メスは交尾後、移動しながら産卵をし、分布域を広げます。

8月の行事予定

1日（火）区長会	8月3日	19日（土）	星空観察会 郡バスケットボール大会 ～ 20日（中）地区1・2年バスケ大会 ～ 27・28日（中）地区ソロデュエットコンテスト ～ 21日
7日（月）リフレッシュウィーク ～ 11日	ハサミの日	20日（日）	郡ソフトテニス大会
8日（火）学校閉庁日 ～ 10日		21日（月）	夏休み科学教室②
11日（金）山の日 山の日全国大会 in おきなわ		24日（木）	2学期始業式 定例教育委員会議
12日（土）郡軟式野球大会 ～ 13日		26日（土）	県知花杯テニス大会 個人 ～ 28日
13日（日）郡バレーボール大会		27日（日）	村陸上競技大会 郡ボウリング大会
14日（月）夏休み科学教室①		28日（月）	旧盆（ウンケー）
15日（火）終戦記念日		29日（火）	旧盆（中日）（小）授業参観日
17日（木）わんぱく③キャンプ ～ 18日		30日（水）	旧盆（ウークイ）

台風シーズン到来です。今年の台風は土日に来たり、イベントがある日に来たり、やな～台風よ。せめて平日、学校や仕事のある日に来してほしい。台風でお休みになるのって特別な気がしてちょっと嬉しかったり。まっ、大変なのは大変だけど…